

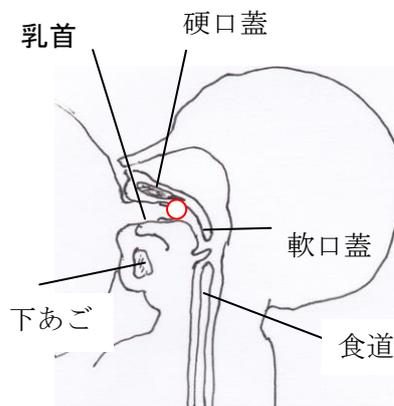
マリアルーム相談ノート No. 27 のみにくい乳首（長い）



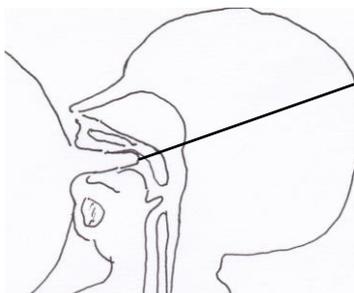
ゆりなちゃんは出生体重3160gで生まれました。ママは上の子2人とも完全母乳で育てたので、最初から初乳の分泌も多く、「とても楽に育てられる」と自信满满でした。産後3日目になっても、体重は10%減少、タール便が続き、泣きもたびたびです。おっぱいもポタポタ流れ落ちるのに、どうして体重が増えないのか？心配しています。

あかちゃんはどのように母乳をのむことができるのでしょうか？

- ・あかちゃんが適切に吸着できれば、乳首と乳輪部が口の中で硬口蓋と軟口蓋の接点○までひきこまれる。これで乳首は普段の長さの2~3倍になっている（乳首だけでなく乳輪部も吸い口になる）。



- ・硬口蓋は上顎の硬い部分で軟口蓋は上顎部分に骨組織ではなくスポンジ状になっている部分。この接点近くまで乳頭が伸びていると適切な授乳行動ができる。
- ・舌の前方は口蓋との間で乳首を圧迫し、その後口蓋と乳首先端とで密閉空間をつくる。
- ・その状態から舌が下方に動くことで舌、口蓋、乳頭先端に囲まれた陰圧空間を形成し乳頭から乳汁が流出する。
- ・乳汁の流れがあることで、繰り返しのみこみ、飲みとる(吸う)リズムができる。



乳首が長く伸びて硬口蓋と軟口蓋の接点○を越えると上記の舌のうごきがうまくできなくなる。また乳汁流出も適切におこなわれず、嘔吐反射がおこりやすくなるので、それを避けるために、深くくわえることを避け、浅い吸着にしたがるので、十分に乳汁をのみとれない。



このような時の対策は

1. 授乳は続けましょう。ただし授乳姿勢はしっかり顎を乳房につけて、頭が後ろに傾くようにします。
2. 飲み方をよくみて、飲みとれているサインがあるかを確認する。
No. 12 参照
体重が増え、体が大きくなれば解決するので、のみとれるサインが見えない場合は短時間の授乳にする。
3. 必ず、搾乳を補充する。最低1日8回か、10回前後
4. よくのめたサインがでてきたら、搾乳補充もいりません

一人一人は 神様からのいのちの
贈り物と祝福です…



無断転載禁止